

史料番号	表題	年月日	作成者(差出人)	宛先	註記	形態	数量	備考
1	有毛村之内岩屋村島方帳	慶長13年8月吉日	岩屋浦庄屋 弥七			書冊	1	
2	異国船唐船漂流漂着之節御定書	寛政3年11月	岩屋浦		寛政6年4月御定書浦々請書物まで	書冊	1	
2	1 覚	未7月26日	越後建功丸船頭 吉右衛門	岩屋浦庄屋 弥七	2の挿入文書。流寄材木請取覚	継紙	1	
3	〔石州美濃郡遠田浦五反帆船破船一件書類綴〕	天保4年巳9月4日			天保4年9月13日まで	書綴	1	
4	遠賀郡岩屋浦人払帳	天保4年巳3月29日	岩屋浦庄屋弥助、同浦組頭清蔵	根本源太夫、秋山源内		書冊	1	
5	遠賀郡岩屋浦人払帳	安政6年未3月	岩屋浦庄屋藤蔵、同浦組頭平三			書冊	1	
6	正浦録	安永1年12月21日 同2年正月	山崎権大夫、古田与八	遠賀郡岩屋浦庄屋・組頭・小百性中	大庄屋・庄屋・小百性中心得書付	書冊	1	
7	未四月十八日防州大嶋郡出井村拾五反帆船直船頭源兵衛船破船一件	文政6年未4月	大庄屋代岩屋浦庄屋 弥七			書冊	1	
8	〔浦々出入荷運上御定書〕	天保11年5月				書冊	1	
9	心得方控帳	明治4年辛未9月				書冊	1	
10	〔通航につき家老中御定書・浦奉行箇条書〕	宝暦11年巳11月	古田与八 保			堅紙	1	
11	1 仕上書物之事(案)	天保9年3月	遠賀郡岩屋浦庄屋弥助、同浦組頭芳平	秋山源内、久野甚平	端裏書「遠賀郡岩屋浦本誓紙案」	継紙	1	「岩屋浦誓紙袋(宗旨誓紙案、養育誓紙案入)」とある封筒で11-1~2一括
11	2 遠賀郡之内岩屋浦切支丹宗門重疊御改被成ニ付起請文書上申事(案)	天保9年3月(朱)			端裏書「遠賀郡岩屋浦名子誓紙案」	継紙	1	
12	條々(写)	寛文1年7月23日			宗門改につき	堅紙	1	
13	一札之事	文政7年申2月	肥前伊万里町 清兵衛	岩屋浦庄屋弥七、同浦組頭太次郎	漂着船滓ほか引渡につき	継紙	1	
14	□(「証」に貼り紙)文之事	弘化4年未7月	羽州加茂浦春日丸五郎助、下関菊屋平兵衛、越後国鍛冶屋敷三ツ井吉右衛門	筑州岩屋浦庄屋弥七殿、同浦御役人衆中	端裏書「不用之分」。春日丸不正につき	継紙	1	
15	書物之事	弘化4未7月	出羽国加茂浦春日丸船頭五郎助、下ノ関菊屋平兵衛	筑前国石屋浦庄屋弥七、同浦組頭長平	奥書「越後国鍛屋敷建切丸船頭 吉右衛門(印)」、春日丸不正につき	継紙	1	
16	岩屋浦武平依御詮儀乍恐申上ル口上之覚(控)	文政12年丑2月	岩屋浦 武平	浅香登	端裏書「浦控」	継紙	1	
17	浜書物之事	文化6年12月13日	御料肥前国松浦郡浜崎浦直船頭 左衛門、水主義平、荷主利左衛門	岩屋浦庄屋半三郎、同浦組頭 新吉	浜崎浦帆船破船一件	継紙	1	
18	浜書物之事	寛政4年子12月	芸州豊田郡大崎東野村直乗船頭市作、水主嘉吉、同藤松	筑前国岩屋浦庄屋弥右衛門、同浦組頭治七	大崎東野村帆船破船一件	継紙	1	
19	岩屋浦ヨリ奉願上口上之覚	嘉永7年寅8月	岩屋浦庄屋 弥七	御浦御役所	端裏書「寅八月 流寄漁船拝領願御聞届被仰付候分」	継紙	1	
20	仕上ル書物之事	慶応3年3月	遠賀郡岩屋浦庄屋 弥右衛門、同浦組頭 平三		当浦滞在の豊前国平松者宗門改	継紙	1	
21	岩屋浦ヨリ御届申上ル事(控)	未7月5日	岩屋浦庄屋 弥七	勝浦大庄屋代江口浦庄屋 甚四郎	端裏書「手元残」。取揚荷につき	継紙	1	
22	覚	弘化4未7月	庄内加茂浦春日丸 五郎助	岩屋浦 御役頭	取揚荷受取	一紙	1	
23	浜手形〔之事〕	文政11年子4月4日	福岡浦直乗船頭忠吉、同浦水主 茂八、同和六、同久市、同惣八、便乞喜三太	岩屋浦庄屋弥七、同浦組頭清蔵	福岡浦帆船破船一件	継紙	1	

史料番号	表題	年月日	作成者(差出人)	宛先	註記	形態	数量	備考
24	1	天保9年11月	対州家中 橘忠作、豊田卯右衛門	筑州御浦方 平野要作	宗右京大夫参府の同勢者乗組船、破船につき	継紙	1	24-1~-6はこより一括
24	2	天保9年戌11月	宗対馬守内 橘忠作、豊田卯右衛門	筑前国岩屋浦庄屋弥七、組頭芳平	端裏書「対州御家中書物」、破船一件	継紙	1	
24	3	天保9年11月	宗対馬守内 橘忠作、豊田卯右衛門	筑前国岩屋浦庄屋弥七、組頭芳平	溺死者の寺結縁につき	切紙	1	
24	4	天保9年11月	宗対馬守内 橘忠作、豊田卯右衛門	筑前国岩屋浦庄屋弥七、組頭芳平	端裏貼紙「本紙ハ御役所へ指出」	継紙	1	24-3写
24	5	天保9年戌11月	宗対馬守内 橘忠作、豊田卯右衛門	筑前国岩屋浦庄屋弥七、組頭芳平		継紙	1	24-2写
24	6	天保9年戊戌年11月3日	対馬守供徒士 梅野哲三郎、貝江庄兵衛、修行九郎治、梅野良左衛門、高雄治五左衛門、妻瀬雪斎	岩屋浦庄屋弥七、同浦組頭芳平	破船一件始末につき	継紙	1	
24	6-1	11月3日	久宝丸乗組 対州 高雄治五左衛門、貝江庄兵衛、梅野哲三郎	大庄屋代脇田浦庄屋清八、岩屋浦庄屋弥七	御取揚用物につき受取覚	切紙	1	24-6同折
25	1	天保2年卯2月3日	備前国牛窓 妙福寺	筑前国小竹村 浄福寺	水主徳助病死につき。同人法名別紙あり	継紙	1	
25	2	天保2年卯2月3日	備前国牛窓五人組嘉作、同万兵衛、同三平、名主助三郎、同三郎右衛門	筑前国岩屋浦船頭弥平、同水主平左衛門、同柏原水主甚蔵、同芦屋浦半兵衛、同甚七、同源兵衛、同幸平、同山鹿村伝左衛門、同治左衛門、同柏原浦新七、同久賀浦卯	水主徳助病死一件始末	継紙	1	
25	3	天保2年卯2月3日	筑前国遠賀郡久賀浦卯平、同柏原浦新七、同山鹿村治左衛門、同伝左衛門、同芦屋浦幸平、同源兵衛、同甚七、同半兵衛、同柏原浦水主甚蔵、同岩屋浦水主平左衛門、同船頭治平	備前国牛窓名主 三郎右衛門、同助三郎、五人組 三平、同万兵衛、同嘉作	水主徳助病死一件始末につき請証文	継紙	1	
25	4	天保2年卯4月	岩屋浦組頭 清蔵、同浦庄屋弥七	遠賀鞍手 御郡代御役所	水主徳助病死一件につき、旦那寺吊の儀願文	継紙	1	
25	5	天保2年卯4月	岩屋浦組頭 清蔵、同浦庄屋弥七	遠賀鞍手 御郡代御役所	25-4案	継紙	1	
25	6	天保2年卯4月	岩屋浦組頭 清蔵、同浦庄屋弥七	御郡御目附	端裏書「廻郡目附」。牛窓の妙福寺よりの結縁証拠につき	継紙	1	
25	7	天保2年卯4月	岩屋浦 弥平	遠賀鞍手 御郡代御役所	水主徳助病死一件、諸入目分目録指上につき	継紙	1	
25	8	天保2年卯4月	岩屋浦組頭 清蔵、同浦庄屋弥七	宗旨方 御役所	端裏書「宗旨方」。25-4案	継紙	1	
25	9	天保2年卯4月	岩屋浦 弥平	遠賀鞍手 御郡代御役所	25-4案	継紙	1	
26		弘化4未6月25日ヨリ	岩屋浦庄屋 弥七			袋	1	26-1~-34の包紙。袋は糊外れ
26	1-1				包紙上書「岩屋浦ヨリ御注進申上ル口上之覚」(全体に抹消線)	包紙	1	26-1-2~-1-3一括
26	1-2	嘉永7年寅2月				包紙	1	
26	1-3	嘉永7年2月	岩屋浦組頭 弥平、同浦庄屋弥七	御浦御役所	2月25日付御浦役所達(死骸と船滓の処理について(一部欠か))も継ぐ	継紙	1	

史料番号	表題	年月日	作成者(差出人)	宛先	註記	形態	数量	備考
26	2	[達]	10月6日	御浦役所	芦屋浦庄屋七六、岩屋浦庄屋弥七	岩屋・新宮両浦への流寄死骸につき	継紙	1
26	3	[達]	10月15日	大庄屋代 七六	庄屋 弥七	死骸・船の引渡につき	継紙	1
26	4	[達]	10月5日	大庄屋 大嶋弥三	岩屋庄屋 弥七	三田尻破船一件処理につき、田代御仕組一件	継紙	1
26	5	先触	10月7日	対州 梯源七郎	原田ヨリ岩屋浦迄宿々問屋衆中	岩屋浦に罷り越すにつき人足差出依頼	継紙	1
26	6	[達]	6月晦日	江口浦庄屋 甚四郎	岩屋浦弥七、同浦組頭衆中	端裏書「大庄屋代書状」。碇掛場につき裁判要請	継紙	1
26	7	[書状]	10月17日	大庄屋 久嶋次三郎	岩やうら 弥七	流寄帆柱の処理について	継紙	1
26	8	[達]	10月4日夕	同 勇五郎	庄屋 弥七	明朝松尾様御供として出頭要請	継紙	1
26	9	[書状]	10月26日	大庄屋 大嶋弥三	岩屋浦庄屋 弥七	破船の礼物について	継紙	1
26	10	[達]	10月8日夕	大嶋弥三	岩屋庄屋 弥七	破船荷物取り揚げとして、松尾様一行当浦止宿につき	継紙	1
26	11	[達]	10月7日	大嶋弥三	代勤山鹿浦庄屋四郎平、岩屋浦庄屋弥七	破船につき出役要請	継紙	1
26	12	[達]	11月13日	宗旨方役所	岩屋浦庄屋 弥七	宗右京大夫様家来溺死一件につき書類提出要請	継紙	1
29	13	[書状]	11月2日	久宝丸乗組 対州侍中	庄屋 弥七	破船乗組人数・名元の書上要請につき。11月4日付梅野哲三郎・高雄治五左衛門・貝江庄兵衛→岩屋 弥七宛覚(浮出荷物書上)を継ぐ	継紙	1
26	14	[書状]	10月20日	広嶋屋 松兵衛	御庄屋 弥七	預け置いた印形入用につき。端裏書「十月七日下関相兵衛ヨリ来状」	継紙	1
26	15	[達]	10月19日	大嶋弥三	岩屋浦庄屋 弥七	端裏書「大庄屋殿ヨリ来状」。御荷物積み込み次第、報告すべき旨	継紙	1
26	16	[書状]	10月5日	同 七六	庄屋 弥七	有毛村に廻船柱桁流寄一件につき注進	継紙	1
26	17	[書状(案)]	10月21日	岩屋浦庄屋 弥七	大庄屋 大嶋弥三	端裏書「大庄屋殿江弥七ヨリ返事」。26-15の返状案。船積と梯様御出立の日時と宿礼額の報告	継紙	1
26	18	[書状]	10月2日	小倉領長浜浦庄屋 富野古三衛	筑前御領岩屋浦 御役人中	端裏書「申十月 豊前長濱庄屋ヨリ来状」。長浜浦漁師2名の死骸岩屋浦へ漂着につき	継紙	1
26	19	[書状]	6月28日	庄屋 勇五郎	庄屋 弥七	破船一件、船頭の帰国につき願上	継紙	1
26	20	[達]	10月7日	大庭伊右衛門、納屋保助	岩屋浦庄屋 弥七	岩屋浦受持浜へ漂着の檣の取り扱いにつき	継紙	1
26	21	[書状]	10月23日	庄屋 弥吉	庄屋 弥七	端裏書「対州御役人御入用人足賃銭之儀ニ付有毛村同役ヨリ掛合書状、但右返事此内ニ有り」	継紙	1
26	22-1	岩屋浦指出ヲ以申上ル事(手元控)	7月5日	岩屋浦庄屋 弥七	大庄屋代 甚四郎	当浦取揚の帆につき	切紙	1
26	22-2	[書状]	7月2日	庄屋 勇五郎	庄屋 弥七	越後船諸道具につき引渡一件	切紙	1
26	22-3	先触	10月17日	対州 梯源七郎	岩屋浦ヨリ原田駒迄 宿々問屋衆中	人足四人の差出願	切紙	1
26	23	長浜浦万作船口上書	10月11日	大庄屋代 七六	庄屋 弥七	漂着死骸の処理につき	継紙	1
26	24	[書状]	10月8日	組頭 金助	庄屋 弥七	貴浦への柱桁漂着一件口上書作成につ	継紙	1
26	25	[書状(写)]	10月朔日	触口 佐藤口十郎	濱中双右衛門	肥後様御米船難破一件御詮議につき	継紙	1
26	26	戸籍御改ニ付受証抛之事	明治5年正月	芦屋町庄屋 舟津渡三	岩屋浦庄屋 本田弥三太	其浦本多長七の儀当町へ引越につき	継紙	1
26	27	戸籍御改ニ付払証抛之事	明治6年正月	芦屋町庄屋 舟津渡三	岩屋浦庄屋 本田弥三太	当町刀根たねの儀、其浦本多彦六の養子となるにつき	継紙	1

史料番号	表題	年月日	作成者(差出人)	宛先	註記	形態	数量	備考
26	28-1 [達]	10月21日	大嶋弥三	岩屋庄屋 弥七	対州役人出立や宿礼金の申出承知につき	継紙	1	26-28-1~-28-3はこより一括
26	28-2 [達]	10月6日	松尾渡五	岩屋浦庄屋 弥七	漂着一件につき当宿まで出頭要請	継紙	1	
26	28-3 [書状]	10月4日夕	庄屋 口一右衛門	岩屋浦庄屋 弥七	当村抱其浦へ帆柱ほか漂着の由注進ありにつき、見分要請	継紙	1	
26	29-1 御用答	10月6日夕	自福岡大庄屋 久嶋次三郎	岩屋浦庄屋 弥七	漂着帆柱桁の口上書の届け先につき	継紙	1	26-29-1~-29-8はこより一括
26	29-2 添書物之事(案)		対馬守内 何役、何ノ何某、一、一	岩屋浦庄屋弥七、同浦組頭芳平	宗対馬守参府につき同勢のため出帆のところ、破船につき	継紙	1	
26	29-3 添書物之事(写)	天保9戊戌年11月3日	対馬守内 供徒士、梅野哲三郎、貝江庄兵衛、修行九郎治、梅野良左衛門、高雄治五左衛門、妻瀬雪斎	岩屋浦庄屋弥七、同浦組頭芳平	26-29-2清書の写	継紙	1	
26	29-4 覚		(船頭)		11月朔日、2日の揚荷覚	切紙	1	
26	29-5 [達]	11月9日	平野要作	岩屋庄屋 弥助	対馬守家中破船一件才判のため、其浦へ入込につき	継紙	1	
26	29-6 [書状]	8月5日	越後船頭吉右衛門 柏原浦ヨ	岩屋浦庄屋 弥七	引船三艘出船につき礼状	継紙	1	
26	29-7 [書状]	(戌)11月27日	用作	庄屋 弥七	対州家中口上書ほか計2通返却につき	継紙	1	
26	29-8 [書状]	6月25日	細屋五郎兵衛(印「赤間関・細屋」)	御庄屋	御地へ繋船の越前三国宝屋長九郎船、大時化で当所へ入船につき	継紙	1	
26	30-1 [達]	7月5日	従柏原 大庄屋代 甚蔵	岩屋浦庄屋 弥七	檣桁と元船の漕廻につき	継紙	1	26-30-1~-30-8はこより一括
26	30-2 [書状]	6月29日	(かね崎同役)		伊岐船漂流一件処理につき	継紙	1	
26	30-3 [達]	6月28日	大庄屋代江口浦庄屋 甚四郎	岩屋浦庄屋 弥七	鐘崎浦より岩屋浦抱沖に帆桁発見と注進につき	継紙	1	
26	30-4 [達]	6月28日	鐘崎浦ヨリ大庄屋代 江口浦庄屋 甚四郎	岩屋浦庄屋 弥七	岩屋浦抱海に碇を伐ち捨てた旅船2艘一件につき	継紙	1	
26	30-5 [書状]	10月10日	有毛 七蔵	岩屋庄屋 弥七	庄屋弥吉不在につき	継紙	1	
26	30-6 [達]	7月4日	柏原ヨリ大庄屋代 甚四郎	岩屋浦庄屋 弥七	岩屋浦沖の旅船碇伐捨一件片付けにつき	継紙	1	
26	30-7 [達]	6月27日	大庄屋 五兵衛	庄屋 弥七	碇切捨の船、下関より掛捜一件につき	継紙	1	
26	30-8 [達]	7月6日	従柏原大庄屋代 甚四郎	岩屋庄屋 弥七	破船手入につき出勤要請、越後船元船・船具漕廻一件	継紙	1	
26	31 対州御家様御乗船防州虎吉船破船雑用	天保9年戊11月			「夜具并風呂損料」ほか雑費書上	長帳	1	
26	32 流寄檣帆日記	天保12年丑10月4日			事件記録と諸入用控	長帳	1	
26	33 諸品取揚候分御請取通	天保9年戊11月4日ヨリ				長帳	1	
26	34 越後出羽両艘碇掛揚方日記	弘化4年未6月				長帳	1	
27	[書状]	4月16日	従福岡庄屋 浜中双	庄屋 本田弥三吉	岩屋浦寄留人の戸籍記載につき	継紙	1	
28	1 [書状]	4月6日	久家浦庄屋 幸六	岩屋浦庄屋 弥七	岩屋浦弥平船水主、備前国牛窓で病死につき便乞一件	継紙	1	28-1~-4はこより一括
28	2 [覚綴]				7通綴。牛窓諸入費覚	継紙	1	
28	3 [書状(案)]	4月	岩屋浦庄屋 弥七	久家浦庄屋	当浦弥平日切船の水主、牛窓で病死一件につき	継紙	1	
28	4 覚	4月12日	松本権四郎	岩屋浦庄屋 弥七	届書1通受取覚	切紙	1	
29	引請証文之事	申2月26日	小倉鋳物師町小年寄 吉村定七	筑前岩屋村庄屋 弥右衛門	岩屋村たみ一件	切紙	1	
30	[]島書物事	[]年戌12月	壳主甚次、証人又七	伊助	島地壳渡証文	堅紙	1	
31	[書状]	壬申2月23日	平松浦 稲生藤太郎	筑前岩屋浦庄屋 田中弥右衛門	当浦2名につき寄留免許願	切紙	1	

史料番号	表題	年月日	作成者(差出人)	宛先	註記	形態	数量	備考
32	明治六年酉年豊前企救郡平松浦之者当時滞在	明治6年			滞在者書上	書冊	1	
33	戸籍御調子ニ付番附					書冊	1	閲覧不可
34	1 永代ニ売渡畠証文之事	天保8年酉4月	有毛村畠売主九三郎、同受人七蔵	岩屋浦庄屋 弥助	長畠中畠五畝ほか代80文銭175匁の永代証文	切紙	1	34-1~-21は「御口絵入」とある木箱一括
34	2-1 永代売渡証文之事	慶応2年寅12月	当浦売主伝次郎、同請人源次郎	虎吉	中畠1畝ほか正金5両の永代証文	切紙	1	34-2-1~-2-2は紙帯一括
34	2-2 永代ニ売渡証人(ママ)之事	慶応3年卯2月	当浦売主武右衛門母、源次郎、受人頼多村次四郎	当浦 虎吉	三軒家屋敷弥助分下畠9歩代正金2両3歩	切紙	1	
34	3-1 蔵売渡申手形之事	天保6年未11月	売主武平、証人長平、同林富平	庄屋 弥助	蔵1軒80文銭325匁	切紙	1	34-3-1~-3-3は紙帯一括
34	3-2 永代売渡申証文之事	天保6年未11月	売主武平、証人長平、同林富平、同組頭清蔵	庄屋 弥助	屋敷代銭150目	継紙	1	
34	3-3 永代ニ売渡申候書物之事	文化10年酉6月	岩屋浦庄屋半三郎、受人反次郎	当浦組頭 大次郎	屋敷代銭80文銭150目	切紙	1	
34	4 年切畠地書物之事	享和3年亥12月	岩屋浦売主茂平、証人清七、同浦庄屋弥右衛門	同浦 次右衛門	中畠4畝代80文銭245.6匁、12年切り	切紙	1	34-4~-11-2は新こより一括
34	5 永代売渡申書物之事	文政9年戌12月	売主市右エ門、証人弥八	弥助	船・船株代銭80文銭130目	切紙	1	
34	6 永代ニ売渡畠証文之事	文政11年子ノ正月	畠売主半十、請人 藤右衛門、組頭十内	岩屋浦 弥助	尾上下々畠1畝代8銭(ママ80文銭)23匁	継紙	1	
34	7 質物ニ召置申畠書物之事	天明5年巳12月	畠売主弥三次、証人正七	善平	下々畠2畝代銭80文銭30目	切紙	1	
34	8 永代証文之事	天保13年寅6月	売主新屋敷 定右衛門、証人留平	岩屋浦庄屋 弥七	下々畠1畝代銭80文銭65目	継紙	1	
34	9 畠永代ニ売渡申証文之事	天保13年寅2月	畠売主幸十、受人安蔵	庄屋 弥七	下々畠1畝余り代80文銭50目	継紙	1	
34	10 永代ニ売渡申畠書物之事	天保8年酉2月	畠売主次八、証人留平、同善四郎	庄屋 弥助	下々畠1畝代80文銭60目	切紙	1	
34	11-1 鰯網場永代ニ売渡申書物之事	天保7年申5月	売主左七、請人甚五郎、同平吉、同清三、同留平、同組頭芳平	弥助	鰯網場代80文銭140目	継紙	1	34-11-1~-11-2は紙帯一括
34	11-2 永代売渡申書物之事	天保6年未12月	売主左七、受人林留平、同清三	庄屋 弥助	山1ヶ所ほか代80文銭120目	継紙	1	
34	12-1 居家敷永代ニ売渡申書物之事	嘉永4年亥12月	居家敷売主藤平、証人 弥平、同源次郎、同磯吉、同長助、組取頭市五郎、組頭長平	庄屋 弥七	居家屋敷・馬家とも代金23両	継紙	1	34-12-1~-12-3は紙帯一括
34	12-2 借申書物事	2月	当浦 藤平、受人同浦 長介	庄屋 弥七	金子1両	切紙	1	
34	12-3 請取	亥12月29日	藤平	庄屋 弥七	屋敷代のうち金子5両余り受取	切紙	1	
34	13-1 五ヶ年切売渡畠証文之事	文政12年丑ノ12月	借主岩屋浦伝三、請人同浦一族小平	有毛村庄屋 五三郎	上畠1畝代80文銭170目	継紙	1	34-1-1~-34-1-2は紙帯一括
34	13-2 添証文之事	弘化2年巳12月	売主みなしや貞次郎、受人文四郎	庄屋 弥七	伝三より買取の上畠1畝、代80文銭85匁で永代売渡	継紙	1	
34	14 永代ニ売渡申畠証文之事	嘉永3年戌12月	畠売主勘次郎、証人藤次郎、同徳八、同組頭長平	庄屋 弥七	上畠6畝代銭80文銭650目	切紙	1	
34	15 永代ニ売渡申畠証文之事	嘉永4年亥3月	畠売主貞左衛門、受人半十、同弥助	岩屋浦庄屋 弥七	下々畠10歩代80文銭300目	継紙	1	
34	16 永代証文之事	嘉永5年子11月	売主久三郎跡請持喜十、証人平三、同善助	庄屋 弥七	畠計11畝代金16両余り	継紙	1	
34	17 永代売渡申田地証文之事	慶応元年丑12月	田地売主 友次郎、受人 徳市	岩屋浦 弥右衛門	下々田1畝余りほか計田6畝余り代80文銭2300目	継紙	1	

史料番号	表題	年月日	作成者(差出人)	宛先	註記	形態	数量	備考	
34	18	年切ニ売渡証書之事	明治8年亥12月	有毛村売主天野弥三郎、受人同田中忠三、同天野善右	本田弥三太	五等田4畝余りほか計田3ヶ所代金75円	継紙	1	
34	19-1	永代ニ売渡シ申書物之事	享和3年亥正月	売主有毛村孫九郎、証人同村源十郎、庄屋喜六	岩屋浦 文次郎	居家1軒・上畠1畝余り、代80文銭650目	切紙	1	34-19-1～-19-3は「伊八居屋敷永代証文 但古証文共」とある包紙で一括
34	19-2	家屋敷永代ニ売渡証文之事	明治2年巳11月	売主伊八、一族半平、同茂吉、同清吉、証人茂八、同平三、同林善九郎、同新野半六	庄屋 弥三	上畠1畝余り・居家1軒、計41両	継紙	1	
34	19-3	御請取	明治2歳巳12月14日	伊八	庄屋 弥三	御祝儀分として米1俵	切紙	1	
34	20-1	永代売渡申書物之事	文化11年戌ノ7月	畠売主半三郎、請人弥八、同清三	太次郎	上畠2畝代80文銭138匁。「此分古証文」と記	継紙	1	34-20-1～-20-2は綴一括のうえ紙帯留め
34	20-2	永代ニ売渡畠書物之事	天保9年戌12月	卯七分畠売主 平、証人竹尾孫四郎、組頭芳平	庄屋 弥七	谷畠ヶ上2畝代銭80文銭145匁	継紙	1	
34	21	田地永代ニ売渡申書物之事	安政2年卯12月	売主有毛村弥六、証文同村善十	岩屋浦庄屋 弥七	下田5畝代80文銭1貫目	継紙	1	
35		人員請証抛之事	明治5年正月	広渡村庄屋 柴田貫蔵	岩屋浦庄屋 本田弥三太	岩屋浦岩野久七姉すま一件	切紙	1	
36	1	畠数高共ニ割方覚	安永8年亥ノ11月			畠高計2.1石余の三人割方覚	切紙	1	36-1～-14は、箱内書「遠賀郡比未村」とある木箱一括
36	2	明和元年浜田新堤築立候ニ付堤床水下弁証抛之事	明和元年申ノ12月	乙丸村庄屋懸村有毛村庄屋惣七、乙九村組頭兵次郎、同次六、同七蔵	岩屋庄屋 弥七	下々田3畝が堤床となるにつき	切紙	1	
36	3	遠賀郡有毛村百姓五七乍恐御願申上候口上書之事(案)	宝暦14年6月	有毛村百姓五七、(庄屋惣七、同村組頭兵次郎、同七蔵、山之口利介、同加三次、口上願主五七<「庄屋惣七」以下抹消線あり>)	嶋井市太夫	岩屋浦の五七抱田、塩害により風防野山御証文発給願	継紙	1	
36	4	永代ニ売渡申田地之事(控)	文化6年巳12月	売主 岩屋浦庄屋 半三郎、林善九郎	有毛村 半蔵	下々田5畝代銭80文銭350目	継紙	1	
36	5	質物ニ召置申田地書口之事	寛政2年戌12月	田主 弥右衛門、証人 伝兵衛	善平	中田3畝代銭80文銭120目	継紙	1	
36	6	田質物ニ召置申書物之事(控)	寛政3年亥12月	田主弥右衛門、証人武平	岩屋浦 文次郎	下々田5畝代銭80文銭200目	継紙	1	
36	7	質物ニ召置申田畠書物之事	安永7年戌12月	借主岩屋弥三次、同正七	山鹿庄屋 勘次郎	田数計1町余、畠数計4反余の代銭80文銭600目	継紙	1	
36	8	永代畠証抛之事	享保12年未ノ3月22日	岩屋畠主 又四郎、同所請人新吉、同善七	岩屋庄屋 弥七	畠7畝高4斗代銀60目	切紙	1	
36	9	岩屋浦西十一月御菜銀上納仕上ル覚	酉11月14日	芦屋浦触口 作兵衛	御浦方御役所	漁船2艘分銀15匁	切紙	1	
36	10	借用仕ル錢之事	安永2年巳ノ12月24日	脇田浦かり主 儀助	岩屋浦庄屋 弥七	80文銭40目	切紙	1	
36	11	質物ニ召置申書物之事	寛政2年戌12月	畠主弥右衛門、証人久次郎	五吉	上畠3畝代銭81.6匁。「売」と後筆	継紙	1	
36	12	覚	11月16日	有毛村庄屋 清作	岩屋浦庄屋弥七、同浦頭百生 新吉	夫米上納分、山坪米上納分、去年分畠方運賃払分合計1石余につき割符払方要請	切紙	1	
36	13	借用申錢之事	文化8年未12月	岩屋浦庄屋半三郎、証人但馬	竹並村 甚三	元利銭3貫余り借用、鯛大漁の際に納所	継紙	1	
36	14	我等田地永代ニ売渡シ申書物之事	享保14年酉ノ12月13日	有毛村田地売主与吉、証人同村庄屋清作、同頭百生藤二郎、同甚七	岩屋浦庄屋庄屋 弥七	中田4畝ほか計5畝余り代米1俵余り	継紙	1	
37		地券	明治10年9月20日	福岡県	筑前国遠賀郡有毛村2438番地 持主 田中弥六	耕地1反余り代価22円余りと地租書上	切紙	1	

史料番号	表題	年月日	作成者(差出人)	宛先	註記	形態	数量	備考
38	1	講金買預ケ置キ証	明治42年旧9月16日	預ケ置キ人 本田政八	本田弥三太	一回の掛金5.5円につき。38-1~-17は「天保六未正月吉日造之 芦屋浦」と内書のある箱一括	1	
38	2	金借用証書	明治32年12月11日	遠賀郡上津後村大字引野借用主古賀半次郎、同郡江川村大字有毛証人本田十吉、同郡上津後村引野証人善野	本田友次郎	宅地・山林・屋敷を抵当として132円借用	1	
38	3	年賦金借用証書	明治42年第11月20日	遠賀郡島郷村大字有毛金借用主伊藤源三、同郡同村大字同 保証人伊藤伝七	遠賀郡島郷村大字有毛 本田弥三太	小船1艘を抵当として16.5円借用	1	
38	4	金借用証書	(明治33年旧12月)	乙丸村金借用主野口安平、証人林栄、同本田秀吉	本田弥三太	11.1円借用	1	
38	5	金借用証之事	明治17年旧12月	金借用主本田嘉平、弁償人伊藤長吉	本田弥三太	重戸棚一本を抵当として6.88円借用	1	
38	6	金借用証之事	明治25年旧12月29日	田中弥六、証人田中政太郎	本田弥三太	山林・立木を抵当として10円借用	1	
38	7	地所売渡証	明治38年8月21日	有毛区長松浦房吉ほか16名	本田弥三太	畑地売渡金1円	1	
38	8	以引当金員借用証券之事	明治16年旧12月日	金借用主同浦 本田嘉平、弁償人 伊藤長吉	同浦 本田弥三太	戸棚一つを抵当として5円余り借用	1	
38	9	受領証	8月18日	大場五郎		開墾地価修正届4人分手数料1.4円受領。江川村役場用箋	1	
38	10	金額借用証	明治18年1月18日	借用主浦中惣代 岩野文右衛門、林伊三郎	本田半右衛門、本田弥三太	浦中より本田善平への取替金50円を抵当として、8円借用	1	
38	11	金員借用証書之事	明治17年申旧12月	金借用主 本田弥三郎、弁償人 岩野千右衛門	本田弥三太	宅地2畝余りを抵当として3.37円借用	1	
38	12	金借用証	明治37年旧12月	借用主 本田いよ、同本田秀吉、弁償証人 川岡和生	本田弥三太	伊藤長次郎講座への加入を抵当として、16.53円借用	1	
38	13	新規開墾地届(控)	明治26年4月25日	持主 本田弥三太	福岡県知事 岩崎小二郎	六等山林のうち一部を畑地開墾	1	
38	14	以抵当ヲ金借用仕証書之事	明治10年丑ノ第2月	金借用主岩屋浦本田甚三、請人同村林伊三郎	岩屋浦 本田弥三太	六等田2枚地価37.27円を抵当として、15円借用	1	
38	15-1	借用証	明治38年旧4月22日	借用人山本善吉	本田弥三太	20円借用証	1	「借用証書 乙丸 野口安平」とある包紙で38-15-1~-15-3を一括
38	15-2	金借用証書	明治36年旧12月	借用主林弥一郎、弁償人伊藤佐六	本田弥七郎	10円借用	1	
38	15-3	金借用証	明治32年旧12月	金借用主野口安平、弁償人林栄	本田弥三太	10円余り借用	1	
38	16	〔包紙〕				包書上書「証書 林善三郎」。中身なし。直方安松商店の広告を料紙とする	1	
38	17-1	金借用証書	(明治40年5月29日)	金借用主林善三郎、弁証人林三亀造	本田弥三太	80円借用	1	38-17-1~-17-2は包紙一括。包紙は明治34年の土地登記申請書を料紙とする
38	17-2	土地年切ニ売渡証	明治38年2月1日	土地売渡人田中忠三、証人豊嶋直光、同杉原菊太郎、同田中亀吉	本田弥三太	遠賀郡江川村大字有毛の畑8畝、売渡代金45円	1	
39		積立会員	大正3年5月27日	東洋貯蓄合資会社		本田佐平、本田重太郎など個人と漁業組合	1	

558 本田(誠)文書目録

史料番号	表題	年月日	作成者(差出人)	宛先	註記	形態	数量	備考
40	[手習本・断簡一括]				手習本(文化・天保期など、書冊7冊、切紙3点)、帳簿端紙、安政二年岩屋浦宗旨御改帳端紙、明治6年「記」(三木氏県令就任)など			
41	[反古紙一括]							帳簿反古紙